DAVID HEYMANN

Infectious Disease Epidemiologist and Public Health Expert

LONDON SPEAKER BUREAU

Topics

- Behavioural
- Health
- Organisation
- Strategy
- Wellbeing

David Heymannは現在LSHTMの感染症疫学の教授であり、ロンドンのチャタムハウスのグローバルヘルスセキュリティセンターの責任者です。

2012年から2017年3月まで、ヘイマンはイギリスの公衆衛生局の議長を務めました。現在、彼は感染症の科学的および技術的諮問グループの議長を務めています。これはCOVID-19パンデミックへの対応をリードしているWHO緊急プログラムの外部諮問グループです。

22年間、デイビッドハイマンはジュネーブの世界保健機関WHOに拠点を置き、その間に疾病管理予防センタCDCからの出向をしていました。その間、エイズに関するグローバルプログラムの研究責任者から新興およびその他の伝染病に関するプログラム。その後、彼は感染症クラスターのエグゼクティブディレクターに任命されSARSへのグローバルな対応を率いました。その結果、彼は後に保健安全保障担当副局長、ポリオ撲滅局長代理に任命された。

WHOに加わる前、デビッドヘイマンは13年間サハラ以南のアフリカを拠点としておりCDCでカメルーン、コートジボワールDRCマラウイで働いていました。この期間中、彼はDRCでのエボラ出血熱の1回目、2回目、および3回目の発生への対応に参加しました。彼はまた、アフリカ中部および西部におけるサル痘の発生を調査し、マラリア、はしか、結核およびその他の感染症のより良い制御を目的としたフィールド調査で保健省を支援しました。さらにCDCに参加する前は、WHO天然痘根絶プログラムの医学疫学者としてインドで2年間働いていました。

Heymannはまた National Academy of Medicine US およびAcademy of Medical Sciences UK の選出されたフェローであり、資金を提供したHeinz the Human Conditionを含む7つの異なる公衆衛生賞を受賞しています。国際公衆衛生研究所協会IANPHIで進行中のメンターシッププログラムの確立。

David Heymannは、200以上の査読付き記事、解説、および本の章を発行しており、公衆衛生と健康保護に関する主要なグローバルリファレンスである「感染症の管理マニュアル」の編集者です。彼の傑出した業績を認めて、彼は、2009年に世界的な公衆衛生への奉仕のために大英帝国最優秀勲章CBEの名誉指揮官に任命されました。

info@londonspeakerbureau.my +603 2301 0988